



平成24年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成23年10月31日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社 コロワイド

コード番号 7616 URL <http://www.colowide.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役

(氏名) 蔵人 金男

問合せ先責任者 (役職名) 経理部長

(氏名) 久松 寛

TEL 045-274-5970

四半期報告書提出予定日 平成23年11月14日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成24年3月期第2四半期の連結業績(平成23年4月1日～平成23年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年3月期第2四半期	48,907	△2.6	1,281	6.5	1,128	57.2	△49	—
23年3月期第2四半期	50,198	△4.8	1,203	△4.0	718	34.8	△808	—

(注) 包括利益 24年3月期第2四半期 160百万円 (—%) 23年3月期第2四半期 △830百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年3月期第2四半期	△2.14	—
23年3月期第2四半期	△11.78	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
24年3月期第2四半期	82,151	20,103	22.1
23年3月期	82,924	20,509	22.6

(参考) 自己資本 24年3月期第2四半期 18,174百万円 23年3月期 18,772百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年3月期	—	0.00	—	5.00	5.00
24年3月期	—	0.00	—	—	—
24年3月期(予想)	—	—	—	5.00	5.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成24年3月期の連結業績予想(平成23年4月1日～平成24年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	101,915	0.8	3,238	5.8	2,249	10.2	1,020	—	10.63

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

4. その他

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無
新規 ― 社 （社名） 、 除外 ― 社 （社名）

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 ： 有
（注）詳細は、添付資料P. 3「四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用」をご覧ください

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 ： 無
② ①以外の会計方針の変更 ： 無
③ 会計上の見積りの変更 ： 無
④ 修正再表示 ： 無

(4) 発行済株式数(普通株式)				
① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	24年3月期2Q	75,284,041 株	23年3月期	75,284,041 株
② 期末自己株式数	24年3月期2Q	223,347 株	23年3月期	223,511 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	24年3月期2Q	75,060,623 株	23年3月期2Q	75,063,034 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示
この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項
本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報（その他）に関する事項	3
四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 継続企業の前提に関する注記	9
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、東日本大震災の復興の進行による景気の持ち直しが期待されるものの、原発事故を起因とする放射能汚染の問題や国を上げての節電対策など消費活動を制限的にする要因の発生や、欧州・米国など諸外国の財政不安の影響による円高や株安の長期化等の懸念から、先行き不透明感が払拭できない状況で推移いたしました。

外食産業におきましては、消費者の節約意識の高まりに加え、放射能汚染の食材への影響や焼肉チェーン、ファミリーレストランチェーンの食中毒発生により、外食頻度の低下が進む厳しい環境が続いております。

このような状況の中、当社グループでは消費者の食材への安全性懸念から、焼肉業態を中心に客数が減少する厳しい状況ではありましたが、各工場において放射能測定器を導入し自主検査を実施するとともに、店舗での食材の取り扱いルール徹底や清掃状態向上など衛生面改善に力を入れ、「食の安全性」をアピールしております。年末の商盛期を迎えるに当たり、各店舗でのQSCA向上の取り組みと業態変更及び店舗改装の実施により、既存店舗の活性化を図り客数の回復に努めております。

東日本大震災後に市場環境が大きく変化した東北地方におきましては、被災店舗の早期復旧に取り組んだ結果、復興需要に対応することができ、来店客数が前年を上回る状況で推移しております。

コスト面では、食材の内製化率向上による原価率低減に継続的に取り組んでおりますが、製造能力の増強を目的として神奈川県横須賀市に建設しておりました新工場が9月から稼働を開始したことにより、今後ますますの品質向上並びに原価低減を行ってまいります。その他販管費につきましては、従来より実施してまいりました店舗客席照明のLED化が関東・東北地方で完了し、電気代削減に貢献しております。また、費用対効果を見極めたコスト管理を徹底し、不要不急な経費の削減に継続的に取り組むことで営業利益率向上を図っております。

尚、当第2四半期連結累計期間における店舗政策につきましては、出店計画に対し遅れが出ているものの25店舗の新規出店、16店舗の閉鎖を行い、当第2四半期連結会計期間末の直営店舗数は884店舗となっております。

以上のような施策を図ってまいりました結果、当第2四半期連結累計期間の連結業績につきましては、連結売上高は489億7百万円、連結営業利益は12億81百万円、連結経常利益は11億28百万円となりました。また、固定資産除却損等の特別損失等を計上した結果、連結四半期純損失は49百万円となりました。

当社グループは、主として直営店による飲食店チェーンを経営しておりますが、セグメント別の売上高につきましては、(株)コロワイド東日本272億15百万円、(株)アトム187億90百万円、その他40億79百万円となっております。

尚、各セグメント別の売上高は、セグメント間の内部売上高又は振替高等を考慮しておりません。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

①資産、負債及び純資産の状況

当第2四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末に比べ7億72百万円減少し、821億51百万円となりました。これは主に有形固定資産が25億3百万円増加したものの、現金及び預金が32億69百万円及びのれんが6億9百万円減少したことによるものであります。

負債は、前連結会計年度末に比べ3億66百万円減少し、620億47百万円となりました。これは主に短期借入金が29億28百万円増加したものの、長期借入金（1年内返済予定を含む）が53億22百万円減少したことによるものであります。

純資産は、前連結会計年度末に比べ4億5百万円減少し、201億3百万円となりました。これは主に利益剰余金が5億76百万円減少したことによるものであります。

②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物は、営業活動によるキャッシュ・フローが34億58百万円、投資活動によるキャッシュ・フローが△23億円、財務活動によるキャッシュ・フローが△44億33百万円となりました結果、前連結会計年度末に比べ32億75百万円減少し51億5百万円となりました。

営業活動によるキャッシュ・フローは、主に税金等調整前四半期純利益や減価償却費及びのれん償却額の計上によるものであります。

投資活動によるキャッシュ・フローは、主に有形固定資産の取得による支出によるものであります。

財務活動によるキャッシュ・フローは、主に短期借入れによる収入があるものの、長期借入金の返済による支出や社債の償還による支出及び配当金の支払額によるものであります。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

通期の連結業績予想につきましては、欧米の経済情勢や国内景気の減速懸念など下半期の見通しが不透明であることから、慎重を期し平成23年4月28日に公表いたしました連結通期業績予想を据え置いております。今後の業績動向等を踏まえ修正が必要となった場合には改めて公表いたします。

2. サマリー情報（その他）に関する事項

四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

①繰延税金資産の算定方法

繰延税金資産の回収可能性につきましては、当第2四半期連結累計期間における主な税務上の加減算項目を考慮し、前連結会計期間末の検討において使用した将来のタックス・プランニングを利用しております。

②固定資産の減価償却費の算定方法

定率法を採用している資産については、当連結会計年度に係る減価償却費の額を期間按分して算定する方法によっております。

3. 四半期連結財務諸表
(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成23年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	8,484	5,214
売掛金	1,265	1,279
たな卸資産	2,445	2,614
その他	2,684	3,351
貸倒引当金	△0	△0
流動資産合計	14,879	12,460
固定資産		
有形固定資産		
建物（純額）	25,659	27,355
その他（純額）	12,211	13,018
有形固定資産合計	37,871	40,374
無形固定資産		
のれん	7,312	6,703
その他	1,267	1,366
無形固定資産合計	8,580	8,069
投資その他の資産		
敷金及び保証金	16,787	16,585
その他	4,951	4,707
貸倒引当金	△355	△251
投資その他の資産合計	21,383	21,042
固定資産合計	67,835	69,486
繰延資産	209	204
資産合計	82,924	82,151

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成23年 3 月31日)	当第 2 四半期連結会計期間 (平成23年 9 月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	4,427	4,890
短期借入金	675	3,603
1年内返済予定の長期借入金	11,594	10,829
未払法人税等	433	333
引当金	777	506
その他	8,844	9,659
流動負債合計	26,752	29,822
固定負債		
社債	8,886	8,636
長期借入金	20,328	15,772
引当金	16	12
資産除去債務	946	954
その他	5,484	6,848
固定負債合計	35,661	32,225
負債合計	62,414	62,047
純資産の部		
株主資本		
資本金	14,030	14,030
資本剰余金	5,739	5,738
利益剰余金	△607	△1,184
自己株式	△127	△126
株主資本合計	19,034	18,457
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△252	△278
繰延ヘッジ損益	△9	△5
その他の包括利益累計額合計	△262	△283
少数株主持分	1,737	1,929
純資産合計	20,509	20,103
負債純資産合計	82,924	82,151

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
(四半期連結損益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成22年4月1日 至 平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日)
売上高	50,198	48,907
売上原価	15,781	15,193
売上総利益	34,417	33,714
販売費及び一般管理費	33,214	32,432
営業利益	1,203	1,281
営業外収益		
受取利息	21	17
受取配当金	9	9
不動産賃貸料	272	267
貸倒引当金戻入額	—	98
協賛金収入	16	118
その他	48	196
営業外収益合計	368	708
営業外費用		
支払利息	531	492
社債利息	82	101
賃貸収入原価	204	193
その他	34	74
営業外費用合計	853	861
経常利益	718	1,128
特別利益		
固定資産売却益	11	11
受取保険金	17	11
貸倒引当金戻入額	13	—
その他	8	—
特別利益合計	50	23
特別損失		
固定資産除却損	131	229
減損損失	82	149
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	624	—
店舗閉鎖家賃	0	137
その他	156	99
特別損失合計	994	616
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△226	535
法人税、住民税及び事業税	340	286
法人税等調整額	193	69
法人税等合計	534	356
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△760	179
少数株主利益	48	228
四半期純損失(△)	△808	△49

(四半期連結包括利益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成22年4月1日 至 平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益 調整前四半期純損失(△)	△760	179
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△103	△24
繰延ヘッジ損益	33	5
その他の包括利益合計	△70	△18
四半期包括利益	△830	160
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△876	△71
少数株主に係る四半期包括利益	46	231

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位: 百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成22年4月1日 至 平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△226	535
減価償却費	2,083	2,188
その他の償却額	157	178
のれん償却額	678	609
受取利息及び受取配当金	△31	△26
支払利息及び社債利息	613	594
固定資産除却損	131	229
固定資産売却損益(△は益)	7	△5
減損損失	82	149
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	624	—
売上債権の増減額(△は増加)	914	△4
たな卸資産の増減額(△は増加)	△20	△168
仕入債務の増減額(△は減少)	△12	462
その他	△390	△302
小計	4,612	4,440
利息及び配当金の受取額	17	15
利息の支払額	△661	△618
法人税等の支払額	△1,602	△379
営業活動によるキャッシュ・フロー	2,366	3,458
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△3,564	△1,829
有形固定資産の売却による収入	91	117
敷金及び保証金の差入による支出	△485	△418
敷金及び保証金の回収による収入	390	423
その他	△389	△593
投資活動によるキャッシュ・フロー	△3,957	△2,300
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入れによる収入	2,231	5,128
短期借入金の返済による支出	△1,373	△2,200
長期借入れによる収入	3,593	580
長期借入金の返済による支出	△7,617	△5,902
社債の発行による収入	1,468	978
社債の償還による支出	△2,618	△2,279
配当金の支払額	△525	△457
少数株主への配当金の支払額	△48	△41
その他	△164	△240
財務活動によるキャッシュ・フロー	△5,054	△4,433
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△6,646	△3,275
現金及び現金同等物の期首残高	11,386	8,381
現金及び現金同等物の四半期末残高	4,740	5,105

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。